

第1回ワークショップの意見の整理

○第1回ワークショップでは、さまざまな観点からワークショップの進め方や八尾地域の課題についてご意見をいただきました。

○皆様からいただいたご意見を整理したところ、8つの視点にまとめることができました。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
① 地域性の考慮	<p>【地理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 八尾地域は山が多く、山で地区が分断されているので簡単に隣の地区には行けない。 <p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 9つの地区は、地域性や築いてきたコミュニティが違う。 <p>【文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富山市中心部と八尾地域を比較すると、お祭りや地域の行事への想いが強く、人のつながりが深い地域が多い。 ● 八尾地区住民にとって、曳山展示館とおわら資料館は、観光施設と資料館としてのそれぞれの役割を尊重しながら、よく連携をとっていると思う。また、来場者にはそれぞれの施設が貴重な役割を担っていると思っている。ただ、八尾地区以外の人からすると八尾地区住民とは思うことが違うかもしれない。 <p>【これまでの経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 集会施設で築年数が経過しているものと、そうでない公民館があるが、小学校統廃合の際の条件で新しくした公民館（仁歩地区、室牧地区、野積地区）がある。その他、八尾小学校は5校を統合した経緯もある。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
② 地域資源の活用	<p>【文化施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 杉風荘は地元にとってシンボリックなものだったので、残してもらったという過去の経緯がある。 <p>【博物館等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 八尾美術保存館や八尾化石資料館は現在、休止中や期間を限定して開館している。人に見てもらうためにも人の集まる場所へ移転するのが良いのではないか。 ● 八尾美術保存館には美術品が保存されているが、作品は見てもらってこそ価値があると思うので、廃止してどこかに展示した方が良い。 <p>【スポーツ施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ・カヌーセンターは、立派なカヌーコースがあるので、合宿の誘致などによって活用できれば、県外の人も訪れる施設になり得ると思う。 <p>【レクリエーション・観光施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 八尾地域にはおわら資料館や曳山展示館など文化や歴史を伝える施設がある。これらの施設は大切に残していきたい。 ● 観光客のことを考えると、おわら資料館や曳山展示館などの施設は1つにまとめるのではなく、八尾の旧町のエリアに複数配置した方が回遊できて良い。 ● 白木峰山麓体験農園は、周辺にジビエ料理の店があったりするのでそういう所と連携して、民間で運営していくことが考えられる。その方が活用できるのではないか。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
③ 地域コミュニティの維持	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地区の公民館が地区住民の活動拠点となっている。各地区にある現状のままだと良いのではないかと。 ● 曳山展示館は、観光施設としてだけでなく、旧町の打合せ・会議の場としても利用されている。八尾地区の集会施設、コミュニティの場としても大切である。 ● 中学校が統合することは地域行事の開催場所がなくなる点や、避難所がなくなる点で地域住民の生活にも影響が出る。 ● 施設が地域からなくなることで、地域の過疎が進むことは避けたい。
④ 子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの遊べる遊具が地域全体で少ない。公園や運動場など自由に使える場所が少ない。 ● 以前は八尾化石資料館の周辺には整備された公園のような場所があり、子どもが遊べるようになっていた。現在は整備がされていない。 ● 檜尾小学校は全てのクラスが複式学級となり、人数が少なくなっている。 ● 人口減少が原因で公共施設を減らす必要があるということが議論になっているが、そもそも人口減少に対策を打たないといけないと思う。子育てしやすい地域にしていけば、人口減少は避けられるのではないかと。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
⑤ 安全性の確保	<p>【避難所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 集会施設は会合のために使われるだけではなく、避難所としての機能もあるので、地区ごとに必要なものだ。 ● 避難所によっては建物の耐震に課題があったり、低地や川の近くなどに立地していることでの不安があったり、避難場所が遠くにあることによる高齢者のアクセスの問題もある。 ● 八尾健康福祉総合センターは避難所になっているが、川に近いため大雨の時に避難するには不安がある。 ● 中山間地域においては、人口が少なくなったからといって施設を減らしてしまうと災害時の避難所や集会をする場がなくなり、生活に支障が出てきてしまうのではないかと。いざというときに避難できる施設が近くにある状態が望ましいと思う。 ● 避難所として施設を残すとしても維持管理には費用がかかる。すべてを残すのではなく、施設を絞って防災機能にも予算を配分できるようにした方が良い。 <p>【耐震性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政サービスセンターのように、耐震性がないとされている施設をそのまま建てておいて良いのか疑問がある。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
⑥ 機能性・利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 八尾行政サービスセンターの機能は、現在、福祉系、総務系、教育センター、窓口といった機能のみである。健康福祉総合センターに複合化したら、福祉の部署と連携がとりやすくなる。機能を充実させるということで馴染むのではないだろうか。 ● 黒瀬谷交流センターは畳の部屋がない。使う用途によって必要になるのではないか。 ● 檜尾小学校には空き教室がある。黒瀬谷交流センターで会議が行えない場合は小学校の教室を使うことはできないか。今でも地域の人に門戸を拓げるために地域住民と児童の交流の場も行われている。方向性として、小学校を地域の行事などにも使えるようにするのが良いと思う。 ● スポーツ・カヌーセンターは、田んぼの時期になると水を抜かなければいけないなど、使用する時期が限定されているのはもったいないと思う。 ● スポーツ施設は古くなると足が遠のく。古い施設にテコ入れしてお金をかけたり、維持コストをかけるのはもったいない。それなら新しい施設を作る方が良い。 ● 八尾ゆめの森テニスコートは中学生が使っているのを見かけるが、中学校が移転してしまうと学校から遠くなるので使いにくくなり、利用率が下がってしまうのではないか。それならば新しい中学校から近い場所に、一般の人も使えるようなものがあつた方が良い。 ● ほたるの里農村公園は、ほたるの時期以外に行っても楽しめないなので、年間を通して外から人を呼ぶ施設としては利活用が難しいと思う。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
⑦ 運営の工夫	<p>【利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 杉風荘は、元料亭で趣がある建物ではあるが、現在は利用率が低い。そもそも利用するときの申込方法がわからない。周知するべきだ。 ● 富山市八尾化石資料館は、もっとアピールして利用者数を増やしていくことで、残していきたい。 ● 八尾美術保存館や八尾化石資料館も現在の立地のままにするのであれば、地元の小学生に見てもらおうように案内を促す、別の使い方で利用率を上げる方策などを考えた方が良い。 ● 八尾パインパークやスポーツ・カヌーセンターは、積極的にPRして利用率をあげていけば良いと思う。 ● スポーツ・カヌーセンターは、世界で活躍する選手も来るため、もっと多くの人に知ってもらい、利用していただくと良い。 <p>【民間活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 杉風荘は、利用率が低く、市が維持する必要があるのか疑問である。元料亭で魅力的な建物で残したほうがよいということであれば、維持・管理を民間に任せるなどして運営方法を工夫したらどうか。 ● 杉風荘など、利用率の低い施設は民間に売却するなど、民間活用を促すという方法もあるだろう。 ● 八尾化石資料館は、例えば、運営を民間に任せるなどでひと工夫してもらえれば、利用率が上がったり、開館期間についても変わってくるのではないだろうか。 ● 八尾化石資料館の隣には、市が運営している無料のパー

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>クゴルフ場や、マウンテンバイクに乗ることができる施設がある。一体的に民間委託するなどして魅力的な空間にしてもよいのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターネットで富山市でほたるが見られる施設を調べても、ほたるの里農村公園は出てこない。周知しないと知ってもらえないし、来てもらえないと思うので、利用率をあげるための広報に力を入れた方がよいのではないかと。 ● 施設の管理運営を市が行うと、開館時間の延長や土日の開館が難しい。規制があって飲食ができない施設もある。民間に委ねれば、運営に柔軟性が生まれ、より使いやすくおもしろい施設になるので、利用率も上がるのではないかと。もしくは市が方針を変え、柔軟に対応できるようになってほしい。 <p>【体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 黒瀬谷公民館と黒瀬谷交流センターは統合しても良いかもしれないが、管轄が違ふと思うので難しいのではないかと。統合する際には、行政の縦割りを見直さないと統合自体ができなかったり、統合しても使いにくいものになってしまう懸念がある。 ● ほたるの里農村公園は仁歩地区の自治振興会が運営に携わっている。人口が減少しているということは、運営の担い手も減っているわけなので、今後も続けていけるのかという不安がある。
⑧ 将来負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ● 八尾地域は人口の割に施設が多い。施設が多いことで維持費がかかるので、老朽化した施設は安全面も考慮して

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>なくすことも検討した方が良いのではないか。</p> <p>【集会施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少などを理由に小学校の統廃合が進んでいるので、公民館の統廃合も必要になってきていると思う。改めて役割や必要性を議論したうえで、廃止等を検討すべきだと思う。 ● 黒瀬谷公民館と黒瀬谷交流センターは近隣にあり、同じコミュニティの単位である。公民館の老朽化も進んでいて、地区住民も黒瀬谷交流センターを利用する傾向があるので、現在の公民館を廃止して交流センターと統合するということは検討しても良いと思う。 ● 卯花公民館と八尾農村環境改善センターは、同じ地域にあって築年数も経っているため、整備を検討するタイミングで一つにできるのではないか。 ● 保内地区と杉原地区は平地だし、中学校が統合されることも考えると、集会施設を統合する可能性があるかもしれない。 <p>【図書館・博物館等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書館は分館もあるが、八尾図書館と統合しても構わない。その分ふらっと館を別の用途の活用につなげるのが良いのではないか。 ● 八尾美術保存館は、昔は美術作品を観ることができたが、現在は保存しているだけである。引き続き保存するだけの用途であるならば、この場所にある必要はなく、どこかと統合しても良いのではないか。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
	<p>【レクレーション・観光施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● おわら資料館や曳山展示館は1つにまとめても良いと思う。八尾はおわら風の盆が一大イベントだが、施設の中で曳山を一緒に見てもらうと相乗効果がある。 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 檜尾小学校は、生徒数も少ないため、空き教室等の利活用の検討を進めたい。また、小学校の統廃合も検討しないといけないと思う。 <p>【庁舎等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行政サービスセンターの機能は残したいが、建物は老朽化していて寂しげな雰囲気である。八尾町のシンボルだったので新しく建て替えてもらうのが何よりだが、それが叶わないのであれば、どこかの施設に統合されて、機能を充実させるという考え方でも良いのではないか。 ● 行政サービスセンターは更地にして土地を売り、利用率の低いふらっと館に移転させるのが良いのではないか。 ● 行政サービスセンターは、新しくできる八尾公民館に機能を移転することができないか。

視点	第1回ワークショップでいただいた主なご意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 五百石駅は、駅とホール、集会室等が複合化されていて公共施設としてとても魅力的であった。新たに公共施設を建てるのは難しいということだったが、越中八尾駅にそのような複合施設を建てて、まちのシンボルとしてもよいのではないか。 ● 杉原中学校の跡地を地区住民としていかに活用するかが課題となっている。公園がないという声もあるので、緑地やスポーツ公園として活用できないか検討している。 ● 将来、人口が集中するエリアに公共施設を集めた方がコンパクトシティ化が進むと思う。